



地域に根差し、世界に開く

コラボ通信

第33号
2012年10月1日

CCC(コミュニティ・コラボレーションセンター)は、学生が学外で生きた学びを得られるように支援する教育機関です。地域、社会、世界の人々と出会い、協働することで、大学で学んだ知識を活かしたものにしていけるようにサポートしています。これまでに、多くの学生がCCCを通して、地域に飛び出し、NPOや市民団体、企業などと連携して共に活動しています。



Summer MEMORIES



皆さん、暑い夏を過ごしましたか？ 2012年の夏を、写真で振り返ってみましょう♪



7月24日～26日
中日新聞主催「地球未来 子ども塾」
(写真:2012年8月28日中日新聞掲載)



8月10日
なごやであそび隊
～トヨタ博物館へ行こう！～



9月17日
名古屋マスタースデー



9月20日
JICAへ行こうツアー



【2012年度前期 CCC開設科目 報告】 コミュニティ・サービスラーニングV(日本語学習支援)

本講義では、在住外国人の現状や背景を知り、日本語学習支援の役割や方法を学び、実践します。今期は、外国にルーツを持つ児童が多く在籍する小学校のトワイライトスクールで、日本語を使ったレクリエーションを企画・実践しました。

●受講した学生の声●

同じ外国にルーツを持つ子が多い今回のトワイライトスクールでは、子ども達の間で母語を使い会話をする子もいます。しかし、日本人の子と仲良く、みんな楽しそうに明るくゲームに参加してくれたので、とても嬉しかったです。

小学校教員を目指している私にとって、ここでの体験は様々な考えに触れる経験になりました。それだけでなく、様々な人の意見を聞くことによって、自分の視野を広げることができます。普段の授業では経験できない貴重な体験ができました。

中垣 佑紀 さん(教育学科2年) (写真左)



**ボランティア
活動報告**

(ビジネス学科 3年)
中川 由有さん

先日(8月26日)に東邦ガス(株)ガスエネルギー館で夏休みイベントがありました。イベントは去年から引き続いて行っている活動であり、子どもたちに環境についてわかりやすく知ってもらおうという目的があります。私たち学生はチームを作り、企画から当日の運営を行ってきました。企画では当日のイベントで何を行うか案を出したり、それにあたっての備品作りやポスター作りの作業を行ってきました。いつも準備の段階から楽しく、お互いに意見を出しあってより良いものを作ろうと考えながら作業をしています。その甲斐あって当日は子どもたちの楽しそうな笑顔や、家族一緒になって考えたり必死に作ったりする姿が見受けられました。その姿を見た時の感動とやってきてよかったという達成感を今でも忘れません。

これからの目標は、お互いが切磋琢磨しあえるチーム作りと、魅力あるチーム作りのためにメンバーを集めていきます。さらには全メンバーをまきこんで今以上に楽しんでいただける企画作りに励んでいきたいと思っています。



【参加してくれた子どもたちへ】
折ったりして頭がごちゃごちゃになったけど、完成品を見たらとても感動した。家でもやってみようかな。

Letter from the Community

東邦ガス(株) 広報部制作グループ ガスエネルギー館

原 亜也子 様より

こんにちは。この度は、学生の皆さんに「夏休み特別イベント」を開催していただき、本当にありがとうございました。東邦ガスでは、様々な地域貢献活動を行っていますが、当館では次世代を担う子供たちに、環境やエネルギー、省エネの大切さについて楽しみながら学んでもらう機会を提供しています。今回、工作教室とゲームを実施していただきましたが、企画立案から材料の事前準備、そして当日の運営にいたるまで、滞りなく対応していたメンバーの皆さんの自律性に感心させられるとともに、「少し年上のお兄(姉)さん」として、子供たちに優しく接していただく姿に温かみを感じました。子供たちの気持ちを汲みながら、受け答えしていただいたことが、子供たちに喜んでくれた大きな要因だと思います。今後も、ガスエネルギー館でのイベントにぜひご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



23名の学生が参加し、企画・運営をしました!

先生が大学生だった頃...

Vol.7 黒川 文子先生(CCC講師・CCC運営委員)

・黒川先生が大学生時代に夢になったことはなんですか?
とにかく、幅広くいろいろなことをしました。中高時代とは違うスポーツをしたいと思いテニスを始めたり、法律に興味を持ち、なぜか宅地建物取引主任者の資格を取ったり、某テレビ局でアルバイトもしました。何か一つのことにと絞ることができない性格だったので、“夢”になったとは言えないかもしれません。

どれもとても良い経験だったのですが、今の私に深くつながっていることを一つあげるとするならば、祖母の介護です。小さい時から可愛がってくれた祖母が、大腿骨骨折にはじまるさまざまな病で介護が必要な状態になったのは、私が大学生の頃でした。当時、襲ってくる痛みに、ベッドで「早くお迎え(死)がこないかな」と毎日のように話し、ほぼ寝たきりの生活が続いていました。そんな祖母のために、お医者さんは往診に来て祖母の手を握って励ましてくださり、看護師さんや介護士さんは毎日のように体調のチェックと必要な対応に来てくださいました。私も毎日母と祖母の家に通い、お風呂に入れたり自分にできることをしましたが、やはり専門職の方の支えがなければ、祖母は今生きていないと思います。この経験から私の卒論のテーマは介護職員の方に焦点を当てたものになりました。

・学生へ一言☆

私が皆さんに言うことがあるとするならば、日常にある一つ一つの経験を大切にしてください。私もそうでしたが、どの経験が将来の自分に関係してくるのか、その時には分からないこともあると思います。自分次第で道は広がっていくと思いますし、将来、校分かれた道で右に行こうか左に行こうか迷ったとき、さまざまな経験がヒントをくれる気がします。私も皆さんと一緒に、まだまだ経験不足の身。これからも日常を大切に生活したいと思います。



写真：日韓ワールドカップ (写真左)

CCCを卒業してから...

Vol.3 児玉 紗代さん(医療福祉学部 福祉貢献学科 2010年度卒業)

・現在の職業はなんですか?

地元の金融機関で働いています。窓口で、ご来店されるお客さまのニーズを汲み取り、正確で迅速な対応ができるように心掛けています。日々失敗の連続ですが、気持ちの良いあいさつ、明るい笑顔、親切で丁寧な対応の3点は常に意識をして実践しています。お客さまに「ありがとう」と言っていた瞬間が仕事のやりがいにつながっています。

・学生時代はどのような活動をしていましたか?

専攻での学びを活かし、デイサービスセンターでの生活支援、母子生活支援施設での学習ボランティアの活動を4年間続けました。学内では、パソコンテイク・ノートテイクの活動をしていました。様々な活動を通して、自分自身が楽しんで活動することが何より大切だということに気が付きました!

・学生へ一言☆

自由な時間など、学生の特権を存分に活用してみてください。失敗を恐れず、「やりたい」と思ったら、どんなことにも迷わずチャレンジして欲しいです。無駄なことは一つもないはずですよ!失敗から学ぶことも多いです。どんなことも後から振り返れば良い思い出となります。私自身も今振り返ると、大学での4年間は、本当に貴重な時間であり、有意義な時間だったと実感しています。



写真：大学時代に出会った韓国の友人の家族の結婚式に出席しました!





☆CCC 学生スタッフ特集☆「わたしにプラスの力をくれた本」

本は時にこれまで知らなかった自分に気づかせてくれたり、活動に行き詰ったりしているときにヒントをくれたり、わたしたちにとってプラスになることがたくさんあると思います☆

そこで今回、CCCで活動している学生さんにどんな本を読んで力をもらったのか、おすすめの本を聞いてみました！

西山典佑さん (ビジネス学科2年)

所属団体: Re:textbooks

使い終わった教科書を回収して、開発途上国の学習支援として寄付します♪



高木祐太さん (スポーツ健康医科学科3年)

CCC 学生スタッフ

小学校の学習サポーターや、児童館でのボランティアなど、子どもと関わるボランティアをしています♪



加藤エリカさん (交流文化学科3年)

所属団体: チームNHK(介助犬)

肢体不自由な方のサポートをする介助犬の役割について理解を深めてもらう出前講座を企画しています♪



西山くんがオススメする本は…

タイトル: ザ・ファシリテーター

著者: 森 時彦 (ダイヤモンド社 2004年)

How to だけでなく、それによってどのように人や組織が、変化するかを疑似体験できる本です。



たかぽんがオススメする本は…

タイトル: 若い教師の成功術

著者: 大前 暁政 (学陽書房 2007年)

学校で実際に起きた問題を元に、どのように対処するべきか書いてある本です。教育は教師が優しく、子どもに寄り添うだけではいけない。時には厳しい態度も必要だと気づかせてくれます。



エリカちゃんがオススメする本は…

タイトル: 介助犬 シンシア

著者: 木村 佳友 (新潮文庫 2003年)

介助犬が技術的な面だけではなく、心の面でも使用者さんの毎日を支えてくれることをひしひしと感じる一冊です。また、介助犬との信頼関係を築く大変さも教えてくれます。可愛いだけでなく、パートナーとして、家族としての介助犬が見えてきます。



これらの本は CCC にもあります～！他に活動に使える本もたくさんありますよ～♪
借りることもできるので、CCCの図書コーナーをチェックしてみてくださいね(^-^)

☆編集後記☆

まだまだ暑いですね！暑さに弱い私ですが、それさえも楽しみたい(笑)「今を本気で取り組み楽しめ」と自分に言い聞かせながらも、これって意外と難しい(汗)。夏休みは終わりましたが、CCCはこれからもずっとあついです！今を楽しむ「きっかけ」として、皆さん、CCCへ♪ CCC 学生スタッフ 藤本 涼子 (交流文化学科2)

	長久手	星が丘
利用時間	9:00～18:30 (授業日以外 9:00～17:00)	
場所	11号棟1階	5号館1階
連絡先	0561-62-4111(代)	052-781-1151(代)
e-mail	asccc@asu.aasa.ac.jp	
	http://www.aasa.ac.jp/institution/ccc/index.html	